

事業 番号	事業名	事業概要	確定額 (千円)	事業区分
		事業実施により実現できた具体的効果・成果		
	事業者名	実施地等		重点等
		実施期間		
URL				

内13	光とフォトニクスに関する国際会議	<p>世界各国の光技術を基盤とした学術及び産業の最先端技術と研究成果を集結し、各分野の連携により未来社会への具体的な指針を得るために光技術に関する9分野の国際会議を同時開催した。</p> <p>光・レーザーが創造する未来社会を目指して、光技術に関する世界の第一線研究者の参加のもと、9つの専門国際会議を同時開催して、次世代社会の基盤である光・レーザーに関する科学技術のフロントを前進させるとともに、我が国の基盤技術としての世界へのアピールとイニシアティブを確立できた。最先端技術である9つの専門分野で国内外の研究・技術者が一堂に会し、最新研究成果の発表、討議が行われ、今後の研究と実用化の指針を把握、確認することができた。特に発表に機会の少なかった新規分野では、活発な質疑があり成果の評価につながる議論がなされた。今回はさらに、アジア・太平洋地域での研究者を中心とする Asia Pacific Laser Symposium (APLS20104) と合同で開催しアジアの研究者が広く世界の研究者と交流する場を提供し、OPICをアジアに広報する良い機会となった。</p> <p>会議では、特に環境に関して貢献度が高く、我が国が発信しリードしている先端技術分野の発表が行われた。クリーンエンジンを目指すレーザーイグニッション技術ではエコジェネのガス発電用への応用が独企業から発表され、LEDの産業応用では植物工場について幅ひろい議論がなされた。また、バイオイメージングでは人体への負荷が少ない高精度な眼底OCTイメージングや蛍光分子を用いないラベルフリーの3次元イメージング等が提案された。将来の核融合エネルギーを目指す高輝度レーザー技術等についてレーザー粒子加速の基礎から応用展開、レーザー損傷にいたる全てのセッションでレベルの高い議論が行われた。これらの活発な発表と議論の場として本会議は高い評価を受けており、我が国の基盤技術として世界にアピールすることができた。</p> <p>さらに、同期間に併催された我が国最大規模のレーザー及び光学機器に関する展示会「OPTICS&amp;PHOTONICS International Exhibition2014 (OPIE2014)」では、本会議に関連した分野の特別展示やポスターセッションを会場の一角にて開催した。これにより、光・レーザー関連の世界の研究者・技術者が相互に刺激しあう場を提供でき、両者の相乗効果がより強く発現されて新しいアイデアを創造するインパクトを与える技術交流の場として、本助成事業の意義をさらに高めることができた。</p>	800	国際会議
	一般社団法人 OPTICS & PHOTONICS INTERNATIONAL協 議会	<p>【実施地等】神奈川</p> <p>【実施期間】2014/4/22～2014/4/25</p>		【重点事項 該当事業】
	http://opicon.jp/			